

---

◎町長行政報告

○議長（藤井 要君） 日程第4、町長の行政報告を行います。

町長から報告の申し出がありますので、これを許します。

（町長 長嶋精一君 登壇）

○町長（長嶋精一君） 令和元年松崎町議会第3回定例会の開会にあたり、謹んで行政報告を申し上げます。9月になりましたが、まだまだ暑い日が続いており、異常気象と思えるような今年の猛暑も、未だに治まる様子がありません。国内景気は、GDPの約6割を占める個人消費は、ゴールデンウィークが大型だったことで4年ぶりで高い伸びを記録する一方、米中貿易摩擦を起因とする中国経済の減速で、輸出は弱い動きが続いております。10月の消費税増税だけでなく、長引く米中の貿易摩擦や、英国のEU離脱、日韓問題など海外にもリスクがくすぶっております。さて、令和元年度も早や5ヶ月が経過し、1年の折り返しとなる9月定例会を迎えましたが、最近の町政の動向について、概要を報告いたします。

今年6月末に、伊豆まつぎき荘ではオープンから13年3ヶ月で累計宿泊客、30万人を達成いたしました。6月24日には第20回しずおか市町対抗駅伝、松崎町チームの決起大会が行われ、選手たちは11月30日の大会に向け、この暑い中練習に励んでおります。また、伊豆縦貫自動車道路の工事が順調に進んでおり、河津トンネルの工事も50%の進捗と聞いております。伊豆縦貫自動車道路の一連の工事が順調に推移していることから、町内鮎川地区へ発生土を運び込んでの盛り土工事も順調に進んでおるところであります。6月の臨時議会では、診療所の実施設計委託費についての補正予算をご承認いただきましたが、8月2日に運営を行っていただく指定管理者募集の周知を、町のホームページで開始したところがございます。指定管理者に関する申請書類の受付期間は、今月2日から、10日までとしておりますが、令和3年4月の開院に向け、慎重に事務を進めているところであります。

本日は、「町営観光施設の入館状況について」ほか4件について報告いたします。詳細は担当課長より申し上げます。

○企画観光課長（高橋良延君） それでは、企画観光課から4件の行政報告させていただきます。始めに、町営観光施設の入館状況につきまして、資料ナンバー1によりご報告をさせていただきます。1ページをお願いいたします。

始めに伊豆まつぎき荘でございますが、右側の7月までの累計の比較でご説明をいたしま

す。宿泊利用人員につきましては、231人減の6,149人となりましたが、入浴・休憩利用人員を加えた利用人数は641人増の10,508人となりました。収益につきましては、前年度より169万3千円ほど増加いたしましたして、9,199万9千円となりました。交際費、減価償却費を按分して加えた事業費用は、前年度より3万5千円ほど減少いたしましたして、1億67万8千円となり、利益につきましては、マイナス867万9千円となりましたが、前年度より172万8千円ほど改善となっているところでございます。

続きまして2ページをお願いいたします。2ページは伊豆の長八美術館でございます。7月までの累計でございますが、947人の減6,974人の利用でございます。収支差額といたしましては、マイナス274万6千円で前年度より、72万5千円ほどのマイナスとなっているところでございます。

続きまして、重文岩科学校でございます。利用人員につきましては、こちらも740人減、4,483人でございます。収支差額といたしましては、マイナスの294万2千円で前年度より、34万9千円ほどのマイナスとなっている状況でございます。

続きまして3ページをお願いいたします。明治商家中瀬邸でございます。利用人員につきましては、278人減の3,501人でございますけれども、収支差額につきましては、マイナス208万1千円ということになりましたけれども前年度より22万円ほど収支としては改善をいたしているところでございます。

続きまして、民芸館でございます。利用人員については113人減の1,982人でございます。収支差額につきましては、マイナスの181万9千円でございます。前年度に比べ、10万5千円ほど、こちらも収支としては改善をいたしているところでございます。

4ページをお願いいたします。道の駅花の三聖苑でございます。こちらの利用人員につきましては649人減、1万3,263人の利用でございます。収支差額につきましては、マイナス313万8千円となっておりますけれど、前年度より24万9千円ほど、収支としては改善をいたしているところでございます。

総括いたしますと、7月末までの累計におきましては伊豆まつぎ荘、中瀬邸、民芸館、道の駅花の三聖苑で前年度より、収支としては改善されておりますけれど、全ての施設において、利用者が減少しており、厳しい状況は続いております。今後も引き続き、町、振興公社、観光協会等が一体となって、誘客に向けてのセールスあるいは、イベントさらには松崎町の情報をきめ細かく多くの皆様に知っていただけるよう、効果的な情報発信に連携して取

り組んでまいりたいと考えております。以上、町営観光施設の入館状況についてご報告させていただきます。

続きまして、松崎町第5次総合計画の平成30年度事業の事業評価について、資料ナンバー2により報告をいたします。総合計画につきましては、昨年3月に、平成30年度から、34年度までの後期基本計画を策定いたしました。後期基本計画においては、町民が地域に愛着を持ち、暮らしやすいと思える環境整備をすることが何よりも大切と考え、町民満足度の高い町を目指して今後5年間で特に力を入れて行う重点取組施策を掲げたところでございます。また、後期基本計画では、計画書に計画の評価検証を明確にうたいまして、役場内部での庁内会議及び総合計画委員会を行ってまいりました。1ページをお願いいたします。まず始めに、平成30年度事業の事業評価について、施策の評価を行った表でございます。総合計画では、町の目指す将来像を定めそれを実現していくために、6つの分野を定めております。合計85事業の評価を行いました。「十分できている」「ややできている」を合計すると69の事業になりまして、全体の約8割が、ある程度できているという評価でございました。今後の取り組みといたしましては、全体としては継続が58事業と1番多く充実・改善していくということでは産業振興や福祉関係で上げられているところでございます。

2ページをお願いいたします。この表は目標指標に対する評価となります。目標指標を掲げている55事業のうち、目標値が改善された事業は19事業で、全体の35パーセント、逆に改善がされなかった事業も19事業で、全体の35パーセントとなっておりますところでございます。

それでは3ページお願いします。3ページ以降は施策ごとに平成30年度の実施内容、効果、課題、今後の取り組み、目標値の比較を記載してございます。この表をまとめたものがただいま説明した1ページ、2ページの表となります。個別の施策事の説明は、省略させていただきます。最後に9ページをお願いいたします。

これは、後期基本計画に掲げた重点取り組み施策の取り組み状況でございます。6項目ほどありますが、まず、1番の買い物等に不自由な人の支援につきましては、昨年4月2日から買い物支援タクシーを運行しまして昨年1,327件の利用がございました。今後、高齢者の移動手段として利用が増えると思われまして、継続して行って行くことといたしました。

2番の順天堂大学付属静岡病院への直通バスの運行については、昨年4月25日から10月31日まで、修善寺での乗り換えとした実証運行を行いましたけれど、やはり利用者が非常に少ない状況でございました。本年度はバスに変わって修善寺から乗り合いタクシーにして実証

実験を行っていますけれども、今後、南伊豆・西伊豆地域公共交通活性化協議会、ここにおいて検証をおこないまして、継続するのか、見直しをするのか、廃止するのかについて協議してまいります。

3番目の診療所の誘致については平成29年に町内の診療所が閉所いたしまして、現在2つの診療所となっております。全国的に医師不足が叫ばれるなか、松崎町においても今の時点で診療所を誘致し安心して医療を受けられる環境を整えてまいります。今後は診療所整備にかかる実施設計を行いまして、また、指定管理者の公募をしているところでございます。

4番の子育て支援の充実でございます。やはり、子育てしやすい環境を整えることが必要であると考え、町独自の事業を含めきめ細かな支援策を現在も講じておるところでございます。子供医療費の対象者を高校生まで拡大するとともに出産祝い金については一人一律5万円だったものを10万円に増額し、第3子移行は20万円といたしました。ただ、こういったことによってすぐ出生数が増えていくということは大変厳しいと思っておりますけれども、町として引き続き子育てしやすい環境作りに取り組んでまいります。

5番の桜葉産業の振興についてでございます。桜葉については、桜葉の需要がありますが、生産者の高齢化などによって担い手不足、これによって供給が追いついていないという現状でございます。まずは生産体制の強化を優先的に取り組むということで、役場の組織として桜葉振興室の設置、あと、担い手の確保に繋げるため、松崎高校の支援学校の生徒と連携いたしまして、桜葉の圃場管理を行ってまいりました。

最後6番の道の駅及び旧依田邸の整備活用につきましては、29年度に作成いたしました道の駅パーク構想基本計画による整備計画に基づきまして、施設の整備を進めるため昨年度に実施設計を行い、住民説明会等により事業内容の周知を図ってまいりました。本年度は、旧依田邸温泉施設整備を優先着手しまして、住民、議会との合意形成を図った上で今後道の駅の整備も推進してまいります。以上、説明といたします。

続いて、松崎町総合戦略の平成30年度事業の事業評価について資料ナンバー3によりご報告させていただきます。まず、松崎町の総合戦略についてでございますけれども、これについては、人口減少対策として、まち・ひと・しごとに特化した、平成27年度から5年間にわたる施策事業をとりまとめたものでございます。

1ページをお願いいたします。ここは施策ごとの客観的な検証を行うため、10項目の重要業績評価指標KPIを設定している所でございます。こちらについて説明します。この表は

まず基準値を定めまして、年間目標、計画最終年度の目標値、各年度ごとの実績ということで表を整理しているところでございます。

先ずは、1番から3番の産業別の就業人口でございますけれども、基準値としては平成22年の国勢調査の数値を用いているところでございますが、5年ごとに国勢調査を行いますので、平成27年に国勢調査が行われた数値が確定いたしましたので、この数値で置き換えてございます。

なお、来年、国勢調査が新たに行われますので、そこで、また、松崎町の産業別の就業人口の実態が明らかになるということでございます。

続いて4番、5番のところですが、観光交流人口でございます。こちらについては前年度より8千人余り増加をいたしまして、前年対比2.6パーセント増となりましたけれども、宿泊者数につきましては、前年比4,900人ほどの減となっているところでございます。

6番と7番については、人口の社会増減でございます。28年度においては社会減、いわゆる転出超過が67人、29年度では転出超過が48人、30年度では転出超過が38人となっております。ただ、年々この社会減が減っている結果となっておりますところでございます。

8番の起業者数でございます。こちらについては、30年度では1件の起業がございました。町内に新たにカフェを開業するものでございまして、30年度には新たに、町として起業支援の補助制度を立ち上げまして、受け入れ環境の整備を図ってまいりました。

9番の空き家活用による移住者数でございます。これは、空き家バンクを利用して移住された方の移住者数ということでございますが、30年度は4名ということでございます。30年度においては、町として新たに空き家改修事業補助制度を作りまして、空き家の活用と移住者の負担軽減を図りまして、移住者の受け入れ環境、そういったものを整備してまいりました。

続いて2ページから4ページでございますが、こちらにつきいては平成30年度実施事業における、実績数値、評価・課題、今後の取り組みを記載させていただきました。個別の施策ごとの説明は省略をさせていただきます。以上、ご説明いたしました。この表においては、それぞれの事業において検討値を記載いたしました。これらは実施事業の成果を測る上で客観的な指標になるものでございます。今後も毎年度、総合戦略の事業評価についてはご報告、説明をさせていただきます。

最後に、自動運転の実証実験について資料ナンバー4によりご報告をいたします。本年度

静岡県においては、自動車の自動運転の実用化に向けまして、伊豆半島3市町で実証実験を行うこととなりました。松崎町におきましては、今後、運転手不足や財政負担などの問題などによって、バス路線の維持が、今後困難な集落における住民の持続可能な交通サービス、これを検討するため自動運転走行による実証実験を行うことといたします。松崎町の他では沼津市、下田市でこの実証実験が行われるところでございます。

2番目の実験概要について申し上げます。実施時期につきましては、本年11月25日から、12月5日までで、実験は10日間行います。区間、ルートといたしましては、八木山のバス停から、長八美術館までの区間でございます。この区間の中で自動運転の実施区間が八木山バス停から重文岩科学校の間で行います。車両につきましては、これは2人乗りの超小型の自動車で行います。実施内容でございますけれど、小型車による公道走行実験に試乗モニターといたしまして、住民の方に乗車体験をしていただきまして、アンケート調査を行ってまいりたいと考えています。1日6往復、1便1名の乗車モニターで120名を予定しているところでございます。この運転の方法ですが、東海バスの運転手の方が乗車しまして、ここに書いてあるとおり、レベル3、システムが全て操作して緊急時だけドライバーが操作という形で、レベル3の形で実証実験を行います。

3番目、今後のスケジュールについて申し上げます。今月に町の地域公共交通会議を開催いたします。それから来月以降、地元の説明会、乗車モニターを募集してまいりたいと考えております。11月11日から実証実験で行う車両等の現地調整を行いまして、11月25日から実証実験を開始いたします。

なお、本実証実験の実施主体はこちらに書いてありますとおり、自動運転の実現に取り組む静岡ショーケースプロジェクト推進委員会、南伊豆、西伊豆地域公共交通活性化協議会、松崎町ということで、実施主体はなっているところで、ございます。

なお、静岡ショーケースプロジェクトの概要につきましては、裏面に記載していますので、後程ご確認いただきたいと思います。以上、企画観光課から4件の行政報告をさせていただきました。

○生活環境課長（鈴木 悟君） それでは生活環境課から行政報告の5番目、公営企業会計令和元年7月末経営状況について報告させていただきます。資料ナンバー5をお願いいたします。

始めに水道事業会計の方でございます。本年度7月末収益につきましては、営業収益、営

業外収益合わせまして①になりますが、4,160万円前年対比20万7千円0.5%の増となっております。理由としましては、7月末現在の有収水量につきまして、27万745立米で一般用の減少により前年対比1,748立米、0.6パーセントの減となりました。また、予定収益を入れた事業収益の合計は④になりますが、4,559万8千円前年対比16万1千円、0.4パーセントの増となっております。

一方、費用の方でございます。営業費用に予定費用を加えた合計は⑦になりますが、4,229万3千円、前年対比147万7千円、3.6パーセントの増となっております。その結果、差引純利益につきましては330万5千円、前年対比131万6千円、28.5パーセント減となりました。

続きまして、温泉事業会計でございます。始めに収益の方でございます。営業収益、業外収益合わせまして①になりますが、1,902万1千円前年対比20万7千円、1.1パーセントの減となっております。昨年同期と比べ、権利放棄により営業用、自家用共に1件減少したことなどから収益減となりました。予定収益を加えた事業収益に合計は④になりますが、1,975万3千円、前年対比21万1千円、1.1パーセントの減となっております。

一方、費用の方でございます。営業費用に予定費用を加えた合計は、⑦になりますが、1,639万円、前年対比21万1千円、1.3%の減となっております。その結果、差引純利益につきましては336万3千円、前年対比増減なしとなりました。

水道事業会計につきましては前年を下回っておりますが、温泉事業会計につきましては、前年対比増減なしの状況となっております。なお、水道事業においては、使用水量の減少が続いているところでございます。また、温泉事業については、収益確保のため引き続き新規加入の促進を図って行きたいと考えています。以上、7月末公営企業会計の状況についてのご報告とさせていただきます。

○議長（藤井 要君） 以上で町長の行政報告を終わります。

暫時休憩いたします。

（午前 9時29分）